

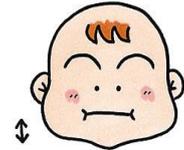
7～8か月頃のおくち



おくちの中を見てみましょう

- 下の前歯が生えてきます。(歯の生える時期や順序は個人差があります)
- 舌は前後運動と、上下運動が上手にできるようになります。

舌と上あごで、食べ物を押しつぶして食べることができるようになります。



おくちのお手入れをしてみましょう

- 歯が生えてすぐに歯ブラシを使う必要はありません。上の前歯が生えてきたら歯ブラシを使ってみましょう。
- 歯磨きの準備として、ママのおひざにあおむけにゴロンさせて、ガーゼなどで拭くことで慣らしていきましょう。

歯が生えてくると、周囲の大人から唾液を介して虫歯菌が感染しやすくなります。大人のおくちをむし歯のない清潔な状態にすれば、スキンシップなどでは感染しません。



コップを使う練習(おくちの機能を育てましょう)

Step1：ティースプーンに水分を入れ横向きに下唇につけ、吸い込むのを待ちます。上唇が水面につかないときは指で軽く押し下げます。

Step2：大きめのスプーンを使って、同じようにやってみます。

Step3：ふちの広い浅めのコップで、赤ちゃんの口元へ運びゆっくりコップを傾け、ひとくちずつ飲む練習をします。



赤ちゃんは生後～6か月くらいまでは鼻で息をしながら反射的に飲んでいました。離乳食を食べるころになると、鼻で息をせずに飲み込むことができる【自分でコントロールして飲むことができる】ようになってきます。この時期にストローやスパウトを先に使うと、反射的に飲むことが続き、おくちの発達に影響します。また上唇をあまり動かさないで、上唇小帯の発達が遅れ、歯列などに影響する場合があります。